



- ネットで確認！貸出状況・学外文献複写状況
- ご存知ですか？オープンアクセスジャーナルとハゲタカ出版社
- 図書館からのお知らせ



59



ネットで確認！貸出状況・学外文献複写状況

図書館で提供しているオンラインサービス(MyOPAC)は、セミナー室予約だけに使うものと思いませんか？実は他にも学外からも本の返却期限を確認できるなど、便利な機能がまだまだあります。今回は、MyOPACの便利な機能を皆さんにご紹介します。ぜひお試しください！

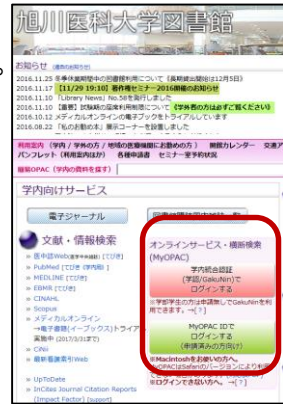
学部学生の皆さんは、既に登録済みなので、学内統合認証(赤いボタン)からログインできます。職員の方は、申請が必要です。学内統合認証とMyOPACID(緑のボタン)のどちらかを選択できます。

「これは便利！」の声多数！

☆自分の貸出状況をチェックする

- 1) 図書館ホームページの真ん中にある「MyOPAC」よりログインする(図1)。
- 2) MyOPACログイン後の画面上部にある「利用者サービス」をクリックし、「貸出・予約照会」を選択する(図2)。
- 3) 貸出中の資料一覧の「状態」欄に貸出期限が表示される。

図1



☆図書館の本を予約する

- 1) 「MyOPAC」よりログインする(図1)。
- 2) 画面中央のOPACで検索する。
- 3) 「所蔵情報」の「予約」欄にあるメモのマークをクリックする。
- 4) 希望する連絡方法を指定し、画面左下の「予約を確定する」をクリックして予約完了！

図2



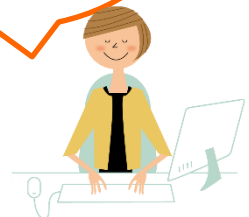
図3

配架場所	巻次	請求記号	資料番号	状態	ユビ小	ISBN	刊年	利用状況	予約
図-2F開架一 般取巻		697/Hok	51317716	貸出中 [2016.12.16]返却 期限		9784873036619			<input checked="" type="checkbox"/>

☆文献複写・貸借申し込み

- 1) 「MyOPAC」よりログインする(図1)。
- 2) MyOPACログイン後の画面上部にある「利用者サービス」をクリックし、「学外文献複写・貸借申し込み」を選択する(図2)。
- 3) 著作権法遵守について「同意する」を選択して画面左下の「申込」をクリックする。
- 4) 入力欄に必要事項を記入し、画面左下の「申込」をクリックする。
- 5) 確認画面が表示される。内容に間違いが無ければ、画面左下の「申込みを確定する」をクリックして完了。

そのほか、文献複写の申込み状況を確認したり、新着図書チェックもできます！



ご存知ですか？オープンアクセスジャーナルとハゲタカ出版社

オープンアクセスジャーナルをご存知でしょうか。文字通り、論文がインターネットで無料で公開されていて、誰でも読める雑誌のことで。従来の学術雑誌は、購読料を払った読者や、購読機関内では論文のフルテキストを読むことができません(抄録まではオープンなことが多いですが)、オープンアクセスジャーナルでは、論文を投稿した人(著者)が料金を払うので、読者は無償で閲覧できます。

研究品質に関する査読のみを行うため、論文の投稿後、比較的早く掲載される傾向があり、多くの人に読んでもらえる機会が増すため、オープンアクセスジャーナルは増えています。2016年には、世界で8,000以上のオープンアクセス雑誌が公開されているようです。2010年にNature社から創刊されたNature Communicationsは、当初は論文をオープンアクセスにするかどうかを著者が選択できる形態でしたが、2014年からは全てがオープンアクセスとなりました。他の大手の出版社でも、研究者の研究費から支払われる費用APC(Article Processing Charge, 論文加工料, 論文掲載料等)によるオープンアクセスジャーナルは、新たなビジネスモデルとなっています。

誰でも読めるオープンアクセスは、著者にとっても読者にとってもばら色の雑誌のようですが、近年、いわゆる「ハゲタカ出版社(predatory publishers)」の増加に警鐘を鳴らす論文やレポートが出されるようになりました。「ハゲタカ出版社」は、著者が払うAPCを食いものにしています。APCは、相場というものがなく、平均3,000ドルとも言われています。ハゲタカ出版に関するレポートでは、査読誌とありながら内容のチェックすらしていない、様々なオプションが後から追加される、質の高い雑誌名に似せた無名の雑誌であったなど、高額なAPCが結局は騙し取られていることに警鐘を鳴らしています。気がつかずにハゲタカ出版に投稿してしまうと、せっかくの論文も、払った費用も結局は無駄になってしまいますし、質の保証されない論文が世界に蔓延すると、どの論文が信用できるのかが分かりにくくなってしまい、研究の妨げになりかねません。

ハゲタカ出版社が気になった方、「論文を投稿しませんか」の営業メールを受け取って困惑している方は、「ハゲタカ出版社(predatory publishers)」で検索してみてください。論文やレポートが入手できます。もっとも有名な情報源は、アメリカの大学図書館員・准教授であるジェフリー・ビール(Jeffrey Beall)氏が自身のブログ「Scholarly Open Access」で公開している「ビールのリスト: Beall's List: <https://scholarlyoa.com/publishers/>」です。怪しい出版社のリストが掲載されています。

図書館からのお知らせ

館内には寒いところがあります！

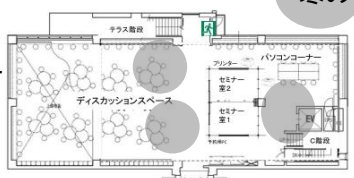
館内は、22度設定で全館暖房中ですが、天井が高い部分や換気で寒い場所は、高めの設定にしているだけ環境整備を行っています。

しかし通路付近や換気口等で若干寒い場所がでてしまうことは避けられません。

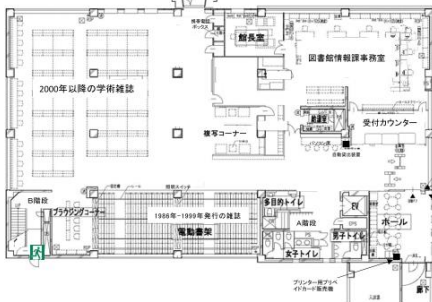
場所を移動したり、上着を着用する等各自で調整をお願いします。

なおパソコン室・パソコンコーナーは、機器の関係上室温は低めに設定していますので、ご利用の際は、ご注意くださいね！

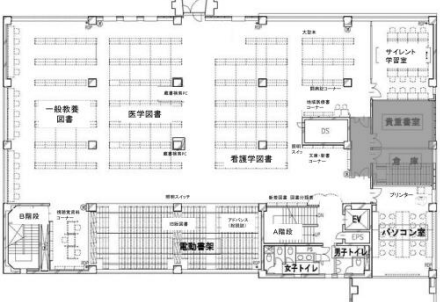
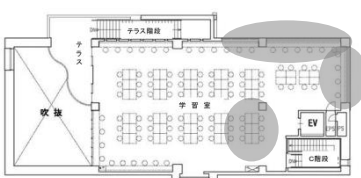
図書館1階



寒いところ



図書館2階



特別利用実施中！
入退館・飲食など**規則を守って**ご利用ください。

学外文献複写について
学外への文献複写依頼はお早めに！
冬季休業期間中は、休館する図書館が増えるため通常より文献取り寄せに時間がかかります。文献はお早めにお申し込みください。なお、年内の到着を希望される場合は、**12/19(月) 17:00**までにお申し込み下さい。

開館時間と長期貸出について
冬季休業期間中の図書館利用について

- 1. 開館時間を変更します。**
12月19日(月)～2017年1月6日(金)は**午後5時閉館**です。申請済の方で閉館後も特別利用する方は、学生証・身分証明書をお忘れなく！
- 2. 長期貸出を行ないます(本学学生・教職員対象)**
12月5日(月)から実施しています。(1月2日まで)返却期限は**2017年1月17日(火)**です。

